

# Something New

サムシングニュー

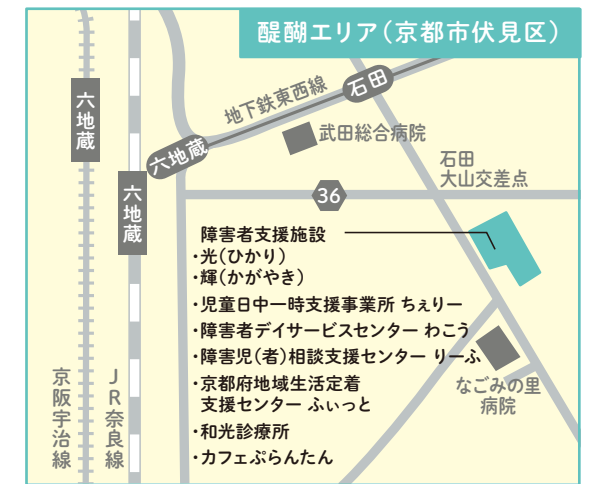
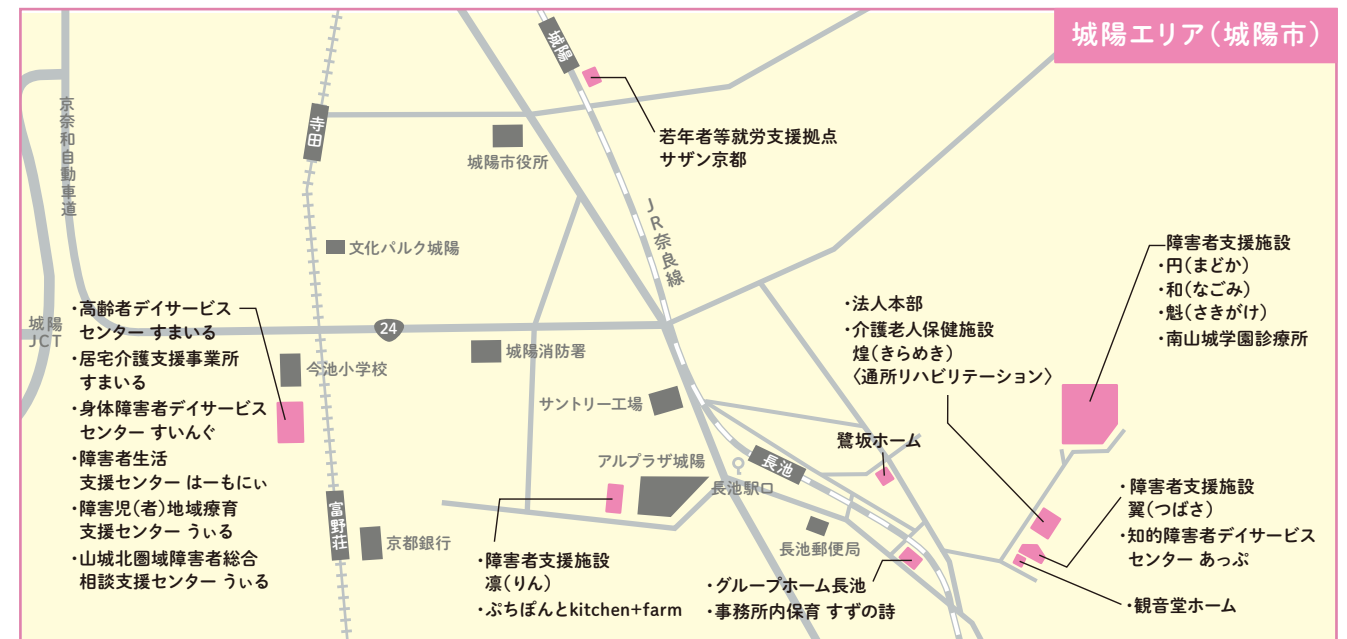
vol.45  
SPRING.2020

特集:働きやすい職場づくり



仕事と生活、  
調和から連動へ

南山城学園広報誌「Something New」(サムシングニュー) 45号 令和2年3月17日発行(年4回発行) 発行責任者: 櫻影格 発行: 社会福祉法人 南山城学園 〒610-0111 京都府城陽市富野狭谷2番地1 TEL.0774-52-0425(代) FAX.0774-53-7578



## 編集後記

この春、私の妹が大学を卒業し新社会人になります。つい最近まで高校生だったような気がして、時の流れは速いと感じる今日この頃です。実家から離れ、新しい環境に飛び込む準備を着々と進めているようです。就職がゴールではなく、スタートです。しっかりと地に足をつけ、よいスタートが踏み出せるよう姉として、社会人の先輩として、彼女の活躍を応援していきたいと思います。(田中)



社会福祉法人  
南山城学園



## 日々の生活リズム



野筋

妻が5:30に起床、朝ごはんの用意、洗濯機を回します。僕と息子は6:30起床、僕が離乳食をあげるのと息子の支度をします。その間妻は洗濯物を干し、自分の支度をして子どもと一緒に7:30に家を出ます。

保育園の送迎は基本的には妻ですが、勤務に応じて夫婦連携プレーをしています。夜中の1時と3時に必ず起きる息子をあやす役の僕としては、いかにゆっくり寝てくれるかを常に考えています。



荒井 長女が生まれて2か月ほど経った頃に妻が原因不明の病気にかかりました。両足が痛くて動けないという症状です。自分が育休を取るとのこと、想像もしなかったのですが、男性でも取得できることを知り、育休を申請しました。代替の人が見つかるまで有休を取得しながら、妻の病院通いを10か所以上。妻は苦しんでいる、長女

## Interview



田中

料理は夫が担当、掃除洗濯は私という家事分担です。夫が7:00起床、前日作っておいたお弁当の準備、朝ごはんを用意します。私と息子は7:30起床、ご飯を食べて支度をして9:00に家を出ます。

保育園は家から5分ですのでゆったりと出かけられます。帰りは18時に保育園へ迎えに行って、1時間は息子との触れ合いタイム。これは絶対に譲れない時間です。息子の夕飯が終わる頃に夫が帰宅、夫婦で食事をしています。



荒井

6:00に妻が起床、お弁当、朝ごはんの準備、娘の幼稚園の支度をします。僕は6:30起床、洗濯物干し、掃除機かけ、ゴミ出し、8:00頃出勤します。

幼稚園の送迎とその他の家事などは妻が担当ですが、幼稚園の行事は必ず僕が行きます。「荒井さんとこは何の仕事されているの?」なんて言われることもあります。

### テーマ① 事業所内保育園すずの詩

野筋さんはお子さんを昨年の11月から法人の事業所内保育園すずの詩に預けていますが、いかがですか。

野筋 なんととっても近い！何かあれば顔を見に行けますし、少人数でアットホームな環境が良いです。法人内のグループホームと同じ建物にあり、ホームの利用者様も僕の子どもだということをご存じで、「野筋さんのとこの赤ちゃんや」と声をかけてくださいます。

荒井 そういうの良いですよ。野筋 それに、管理職がとても理解してくださるので本当に有難いです。急病の時など「早く子どものとこ行ってあげて。こっちはなんとかなるから」と。

荒井さんは、法人で初めて男性で育休を取得されました。当時のことを伺えますか。

## 中期経営計画2020

(創立50年を機に策定した「ネクストビジョン2025」内)

### (6) 魅力ある職場づくり

風通しのよい組織風土の醸成や事業所内保育所の開設など、職場環境の整備に取り組みます。あわせて人材育成の仕組みを強化し、働きがいのある職場づくりを通じて人材確保に努めます。

- (1) 障害者の地域移行
- (2) 高齢障害者の居住安定
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 地域コミュニティの活性化
- (5) 福祉教育・啓発の推進
- (6) 魅力ある職場づくり
- (7) 災害時の対応
- (8) 保育・子育て支援事業の展開
- (9) 生活困窮者への支援
- (10) 研究と実践の連携

### プライベートでは

生活が変化し、さまざまな経験を積み、地域や社会との関わりも増える時期

### 耳で学ぶでは

多彩な知見を深め、ステップアップをはかる時期。高い専門性と組織性をもってチームに貢献することが求められる。



仕事とプライベート、どちらも大事。連動させて相乗効果を目指します！



### 野筋隆史さん 2014年入職(5年目)

障害者支援施設にて生活支援員として勤務。昨年農耕班のリーダーを任される。

妻(パートタイム勤務)、長男(8か月、事業所内保育園すずの詩に在園)の3人家族。長男がつかまり立ちができるようになり、どうあやしても笑う姿が可愛くて仕方ない。

### 田中紗菜子さん 2012年入職(7年目)

生活支援員を経て、育休明けの2019年4月から地域生活定着支援センターふいっとにて相談員として時短(9:30~17:30)で勤務。

夫(兵庫県の職場まで片道1時間半かけて通勤)、長男(1歳8か月、自宅最寄の保育園在園)の3人家族。長男のいやいや期突入で大人が振り回される日々。

### 荒井義宏さん 2000年入職(20年目)

生活支援員を経て、居宅介護支援事業所すまいるにてケアマネジャーとして勤務。

妻(専業主婦)、長女(6歳、4月から小学生)、長男(2歳、4月から幼稚園)の4人家族。長女はババ子でべったり、長男はかなりのやんちゃで手を焼いている。



## テーマ① 今後のビジョン

**野筋** 子どもの遊びや興味のあることを何か作業に生かせないかなと考えています。カブトムシを育てるとか、いちご畑を作って食べ放題できないかなあとか。焼き芋機を借りてカフェの前で利用者様と一緒に販売したりとか。やりた

**荒井** 僕も同じです。子どもに喜んでもらえることを企画したいですね。施設の向かいにある保育園との交流を今年度から始めました。敷地内の小さな畑で芋ほりしたり、野菜を育てたり、花を植えたり。子どもたちがすごく楽しそうにしてくれて、利用者様に喜ばれるし、職員も楽しいし、良いことばかりですね。施設前は小学校の通学路にもなっているのです、子どもたちが学校帰りに「お茶ちょうだい」とか言って気軽に寄れるような施設にしたいです。

**田中** ふいっとのある醍醐エリアは芝生やカフェもあって良い環境なんですけど、もつと子どもが普通に遊べるような仕掛けがあると良いですね。城陽エリアでヨガ教室を開催しているので、醍醐エリアでもマタニティヨガとか、親子ヨガとかを出来たらいいなあ

## テーマ② 男性の育休取得

は泣きわめく、かなり追い詰められて、大変な状況に陥っていました。

**育休中の8か月間はいいか**がでましたか。

**荒井** 幸いにも育休中に妻が回復し、僕が仕事復帰する頃には元気にになりました。代替のケアマネさんは管理職と兼務されていてフォローが必要でしたので、育休中も月に数時間は働いていました。収入もあつたので経済的にもなんとかやっていきました。

**復帰されてからはいかがですか。**

**荒井** 8か月の育休期間は本当に貴重な経験でした。仕事は代わってもらうことができません。家族にとつて僕は一人しかいません。そういう当たり前のことがはつきり分かりました。「僕は家族優先です！」と胸をはって言えます。

**野筋** 実は、僕も育休取得しようかなと考えた時期がありました。最近、妻が子どもは3人欲しいと言いました。1人でも結構な大変さなので正直「大丈夫か?」と思っていますが…。

**荒井** 家族の協力と職場の理解があればなんとかなるもんですよ。3人、きつと楽しいですよ。

## テーマ③ 働きやすい職場の風土

**早く復帰したいという気持ち**が強かった田中さん、実際に復帰した感想は?

**田中** まだまだ子どもの急病などで迷惑かけることが本場に多いのですが、毎日楽しく仕事させてもらっています。「ふいっと」の相談案件は、解決に時間がかかる難しいケースが多いのですが、その分連携してチームで考える雰囲気なので、すごく働きやすいです。全国各地に行くことが多く、それもある意味気分転換になっています。夫も快く送りだしてくれそうです。利用者様との触れ合いとか仕事のやりがいつか、そちらも私には大事です。仕事と家庭のどちらかとか、切り離して考えられないですね。

福祉職って子どもに誇れる仕事だなと思うし、子どもとの遊びを作業にも生かせたら、と思う。



**今後、法人がより働きやすい職場になるために必要なことは?**

**荒井** やつぱりコミュニケーションですね。職員同士の声の掛け合いは本場に大事。言い出せないなんてもつてのほかです。僕は、スタッフの家族が病気とか、子どもが小さくてパートナーが熱出したとか、あきらかに家族優先にしなければならぬ状況のスタッフには必ず声をかけます。「仕事はフォローするから、大変な時は家族優先や」と。さらに、管理職、主任やエキスパート層の職員が積極的に制度の情報を伝えることでより良くなると思います。

**田中** 私は仕事も生活もどちらも

大事で欲張りです。もちろん息子は大事ですが、急な熱の連絡があつて大事な抜けられない仕事と重なったりすると、法人に病児預かり保育があれば助かるなあと思います。

**野筋** さきほど育休取得したいと話しましたが、僕も仕事はもちろん大事です。期待されていたらそれに応えたいという気持ちは当然です。育休ももちろん取りたい。そうできるように経済的な面も考えて、制度を利用しながら自分自身の意識や働き方も変えていければと思います。

**荒井** 僕らの仕事は即物的な金儲けではなく、その人の幸福と一緒に考えて実現させていくめっちゃカッコいい仕事ですね。

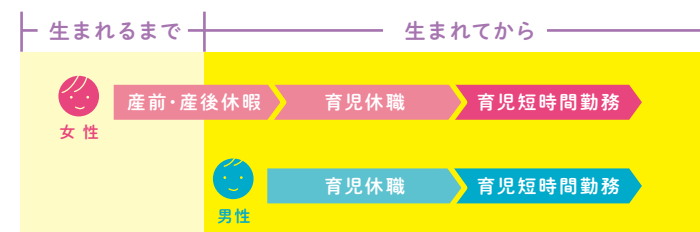
**野筋** 本当に。福祉職は子どもに誇れる仕事やと思います。

思っています。

**荒井** 若い世代がどんどんアイデアを出して、カタチにしていける風土にしていきたいですね。そして、僕たちのようなベテラン層と管理職がしっかりと若手をフォローする体制をとれたら最高ですね。

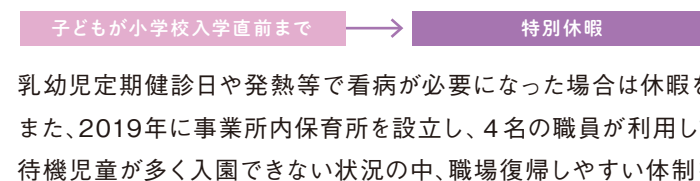
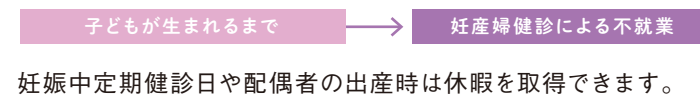
働きやすい職場づくりには、給与や福利厚生などの制度をつくるだけでなく、一人ひとりがそれを理解し、使いやすく工夫して、「みんながお互いを支えている」という意識を共有することが大切です。仕事と生活を連動させて、より良い福祉サービスの提供につなげていけるよう努めてまいります。

## 南山城学園の 育児と仕事の両立支援制度



労働基準法では産前休暇は6週間前からと定められていますが、当法人は8週間前から取得が可能です。

また、変則勤務がある入所施設勤務職員等は本人の申し出により子どもが小学校に上がるまでは短時間就業も可能です。



**女性も男性も、育児休暇や短時間勤務を利用することができます。一生に一度しかない時期をともに過ごす仲間たちをサポートする制度です**



【くるみんマーク】  
「子育てサポート企業」として、くるみんマークを取得しています。





## 醍醐エリア 「和光あんさんぶる」

当法人では、2015年から毎月1回、2施設(城陽エリアと醍醐エリア)を開放して、学区内の小学生世帯を対象に、晩ごはんを食べながら楽しく集う会を開催しています。今回は、「和光あんさんぶる」でお手伝いいただいているボランティアの皆さんをご紹介します。



子どもたちが晩ごはんをみんなで一緒に食べる場所に

和光あんさんぶるでは、主に調理担当として、学区の社会福祉協議会や民生委員などの皆さんが交代でボランティアに来てくださっています。

「先生！」  
子どもたちの何人かが手を振って、調理の様子をのぞきにきました。子どもたちと親しく接する田村さんは、学区社会福祉協議会の理事として高齢者向けの料理教室や子ども向けの「学び教室」など地域の取り組みに積極的に携わっておられます。

この日は、クリームシチューとチキンナゲット、ケーキのデザート付きのクリスマスメニューです。シチューのいい香りが部屋全体に広がります。

「ここ(南山城学園)があるからね、地域がひとつになれる」

田村さんたちはそう話してくれました。学区内の中心地にある醍醐エリアのホールは、子育て支援活動や自治会

会議など地域の集まりに利用されているのです。

地域には色々な困り事があり、それぞれのご家庭の事情があります。

以前、一人暮らしのご高齢の男性が家にもってしまいがちなのが心配、という話がありました。でも敷地内のカフェ「ぶらんたん」ができてからは、コーヒーを飲みながらおしゃべりされる姿を見るようになったとか。

さまざまな活動をされている皆さんには、和光あんさんぶるでの情報交換が役に立つ時もあるそうです。

地域の声をキャッチし、つかず離れず見守り続ける

スタッフもボランティアの皆さんの姿勢に大切なことを学んでいます。頼もしいパートナーの皆さんと共に、この和光あんさんぶるの役割はますます広がりを持っていくでしょう。



左から飯田さん、畑さん、田村さん

## 教えて！

## おうちでできる子どもの体操

1日5分

## 0歳～1歳児のからだを柔らかくする体操

監修 もりの詩保育園 園長 山崎里美



近年、働きながら子育てする方が多くなり、子育て便利グッズが普及し抱っこひもは小さな子どもがいる家庭では必需品になってきました。便利な一方、子どもの掴まる力や手足の柔軟性が低下し、転倒した時とときに手足が出ずに顔面や頭からこけてしまう子どもが多くなっています。子どもの身を守るためにも、寝る前に1日5分でできる体操を一緒にやってみましょう。

※体がかたい子どもには、痛がらない範囲までしてください。  
痛がって嫌がる場合は、体をさすって力を抜けるように繰り返してください。



① 子どもをマットや布団の上にねかせ、子どもの足首を持ちます。ゆっくりお尻が少し浮くぐらい左右に5往復します。



② 次に足を90度まであげます。



③ 90度にあげた足をさらに顔に近づけます。(※)



子どもと視線を合わせながら行うとよりgood!

④ 足の間から顔をのぞくように子どもの足を左右に広げます。(※)



⑤ ①の状態に戻り、次は子どもの両手首を持ちます。



⑥ 手を大きく伸ばし、バンザイをします。

**ちよこっと豆知識** もりの詩保育園では、体の柔軟性が身につくと力の抜き方を子ども自身が覚え、入眠時も寝つきがよくなり、お昼寝時にはぐっすり眠れるようになる子どもが多いです。

## 食パンの販売を開始しました

2019年4月に開設した地域福祉支援センター島本 デイセンターふらっぶで食パンの販売を開始しました。「ふらっぶ」の文字の焼き印入り!和菓子などにも使われる「和三盆」を使用しています。また、水を使わず牛乳で生地を練っています。しっとりした生地でやさしく、甘みがあり、そのままでもトースターで焼いても美味しく召し上がっていただける食パンです。ぜひ、一度ご賞味くださいませ。

[場所] 地域福祉支援センター島本 デイセンターふらっぶ (大阪府三島郡島本町桜井三丁目4番2号)  
[金額] 1斤400円(税込)



※1日の焼き上がり本数に限りがあります。  
まずはお電話にてご予約をお願い致します。  
電話番号:075-925-5223

## お知らせ